

トロッコ列車「奥出雲おろち号」の JR 出雲市駅片道延長運行(臨時運行の実施)について 【出雲の國・斐伊川サミット事業】

1. 経過等

平成10年4月から JR 木次線木次駅～備後落合駅間を運行しているトロッコ列車「奥出雲おろち号」【運行者:JR 西日本、運行支援者:出雲の國・斐伊川サミット(出雲市・雲南市・奥出雲町・飯南町及び斐川町)】は、山陽や関西を中心とする多くの県外観光客が利用する人気列車として、また、本県を代表する観光資源として成長しました。

「奥出雲おろち号」は、平成22年度から観光交流人口の拡大や沿線の地域活性化のため、日・祝日を中心に JR 出雲市駅から片道延長運行(以下「臨時運行」という。)を行っていますが、この度、JR 西日本と協議をした結果、平成23年度も JR 出雲市駅臨時運行が決定しましたので報告します。

2. トロッコ列車の運行状況等について

(1) 平成22年度運行分【実績】

- ◆ 運行期間 平成22年4月3日～11月23日
- ◆ 運行日数 156日(うちJR出雲市駅臨時運行日:50日)
- ◆ 運行区間 JR木次駅発～JR備後落合駅～JR木次駅着
- ◆ 乗客数 16,712人(乗車率72.1%)
(うち、JR出雲市駅臨時運行乗客数 1,621人)
- ◆ 運行経費等 トロッコ列車運行経費12,667千円(飯南町を除く2市2町で負担、
うち出雲市負担金1,084千円)
トロッコ列車PR経費 5,333千円(うち出雲市負担金1,906千円)
合計 18,000千円

(2) 平成23年度運行分【予定】

- ◆ 運行期間 平成23年4月2日から11月下旬までの金、土、日、祝日
※ゴールデンウィーク、夏休み期間、紅葉期間は平日も運行。
※日・祝日を中心に JR 出雲市駅臨時運行を実施。
- ◆ 運行日数 155日(うちJR出雲市駅臨時運行日:50日)
- ◆ 運行区間及び運行ダイヤ
通常運行:JR木次駅発(10:04)～JR備後落合駅(12:17)～JR木次駅着(14:55)
臨時運行:JR出雲市駅発(8:45)～JR備後落合駅(12:17)～JR木次駅着(14:55)
- ◆ 運行経費等 トロッコ列車運行経費12,667千円(飯南町を除く2市2町で負担、
うち出雲市負担金概算1,085千円)
トロッコ列車PR経費 5,333千円(うち出雲市負担金概算1,912千円)
合計 18,000千円

3. JR 出雲市駅臨時運行の効果等

- (1) サミット圏域内における一体感の醸成、観光交流人口の拡大
- (2) 宿泊型観光の振興及び宿泊客数の増加による経済効果の増大
- (3) 古代出雲文化、出雲神話等を活用した新たな観光ルートの創出
- (4) トロッコ列車に関連する商品開発、販路拡大